



●二〇一九年のラストスパートを

いよいよ2019年最後の月がやってきました。何事もフィニッシュが肝要です。今年最後の月、定期考査だけではなく、それに繋がる一回一回の授業から、もう一度気を引き締めて2019年を締めくくりましょう。

さて、3年生の進路は60%程決定しています。区切りを迎えた人もいますが、終わりではありません。3年生は卒業に向けて進むのは勿論のこと、まだ入試・就職活動をしている人がいます。「自分は終わったから関係ない」のではなく、皆でそういう人を応援できる雰囲気作りに努めましょう。

1・2年生は年明けから立て続けに課題考査や修学旅行・学年末考査があります。先輩である3年生の姿を見ながら、「ここは真似しよう」、「ああはならないでおこう」と他人と比較して、進路に向け一層の努力を。まずは、セルフチェックで現状を見つめなおし、目標設定で2019年のフィニッシュを良いものにしましょう。

●セルフチェックと目標設定

(◎：できている ○：まあまあ △：課題あり ×：全くできていない)

チェック項目	国語	社会	数学	理科	英語
予習をしている					
宿題・課題をしている					
宿題課題以外に復習をしている					
授業が理解できている					
学習時間は確保できている					
定期考査で思い通りの結果が出せそう					
授業がある日の学習時間 () 時間	休日の学習時間 () 時間				
ルールを守れている (はい・いいえ)	努力は嫌いだ (はい・いいえ)				
人と話すのが苦手だ (はい・いいえ)	子どもっぽい (はい・いいえ)				
空気を読めている (はい・いいえ)	字は丁寧だ (はい・いいえ)				
○セルフチェックで分かる自分の弱点・取り組むべき課題					

●あの孔子もお手上げの人物とは？！

孔子は今から 2500 年ほど前の聡明な人物で、今の中国に当たる場所で様々な国が覇権争いをしてきた激動の時代の人物です。彼の思想は中国だけでなく、日本にも様々な形で影響を及ぼしています。

彼の思想は、死後弟子たちによって言行をまとめられた『論語』を読むことでうかがい知れます。国家・家族とはと彼が語るころには、現代にはふさわしくない所も多々ありますが、それでもなお、2500 年の時を経て読み継がれているのは「人間とはかくあるべし」という部分について、見るべきところが多いからでしょう。

孔子には 3000 人も弟子がいたとされ、私が特に注目するのは次の部分です。なんとあの孔子ですら、お手上げの人物がいるのです。どんな人物でしょう。

子曰、不日如之何如之何者、吾末如之何也已矣

書き下すと、「子曰く「如曰何、如曰何」と曰わざる者は、吾如之何ともすること未きのみ。」となります。(書き下しには諸説あり)「如曰何」と言ってこない者には孔子ですらお手上げです。「如曰何」とは、「どうすればいいか」です。

要は、困っていることを相手が気づいてくれるのを待つのではなく、「困っている」と言いなさいと孔子は仰っているのです。皆さんも困っていることを困っていると言える人間をめざしてみては？おっと、その前には困るほど努力する必要がありますね。

●働かざるもの食うべからず

給料は社会の一員として各自の能力を企業に提供することへの見返りです。要は、「会社の役に立って初めて貰えるお金」なのです。

例えば遅刻・欠勤は論外ですが、「校則」より更に厳しい「企業規則(コンプライアンス)＝法令遵守(じゅんしゅ)」に従えるでしょうか。騒ぐ、廊下を走る、置き便、ピアス等々態度の大きさアピールが楽しいのか、イキりたいのかは知りませんが、そんなことを注意されるような人間は、企業では求められません。また、働く際に上司の指示に従うだけでなく、顧客(こきやく＝お客様)に親切・適切に対応し、アルバイトやパート職員に責任ある立場で適切な指示を出す場合もあります。自分の都合のいいルール解釈や言い訳などするようでは、企業では活躍できません。

また、「微熱がある」「頭が痛い」状況でも働かなければならない状況は多々あります。人間の身体は不思議なもので、やる気と体調は多少関係があるようです。どの進路でも、学力・コミュニケーション力・表現力・マナーなど身につけるべきことは多くあります。「めんどくさい」と思わず、やる気を出して一日でも早く動き出しましょう。